

# MakeWeb 4.0 ( 3)

結城 浩

## 目次

1	はじめに	3
2	主な機能	3
2.1	正しいHTMLのタグを自動生成	3
2.2	ファイルのインクルード	3
2.3	コメント機能	4
2.4	コマンドの定義	4
3	入手方法とインストール	4
3.1	入手方法	4
3.2	ファイル一覧	4
3.3	動作環境	5
3.4	インストール手順	5
3.5	アンインストール手順	6
3.6	起動(HTML)	6
4	サンプル	6
4.1	sample.txt と sample.html ファイル	6
4.2	sample.html の作り方	6
5	主なコマンドの紹介	7
5.1	コメント	7
5.2	リンク(1)	7
5.3	セクション	8
5.4	サブセクション	8
5.5	番号なしの箇条書き	9
5.6	番号付きの箇条書き	9
5.7	強調	9
5.8	変換の抑止	10

5.9 コマンドの定義 (1) ::::::::::::::::::::::::::::::	10
5.10 コマンドの定義 (2) ::::::::::::::::::::::::::::::	10
5.11 ファイルの挿入 ::::::::::::::::::::::::::::::	11
6 エラーメッセージ	11
7 利用のコツ	12
7.1 pl2bat コマンド ::::::::::::::::::::::::::::::	12
7.2 どのファイルを修正すべきか ::::::::::::::::::::::	12
7.3 フックコマンドで簡単カスタマイズ ::::::::::::::	12
7.4 その他 ::::::::::::::::::::::::::::::	13
8 MakeWeb Version 3 との相違点	13
9 バグ報告など	14
10 使用・変更・配付上の注意	14
11 作成履歴	14
12 謝辞	15
13 関連リンク集	15

MakeWeb 4.0 はまだ 版です。  
ここに書かれた内容は大幅に変わる可能性があります。  
MakeWeb やこのマニュアルに関するご意見は  
結城浩 hyuki@hyuki.com までお送りください。

このHTML ファイルを作成したのは Fri Apr 13 17:48:46 2001 です。

## 1 はじめに

MakeWeb はテキストファイルから HTML ファイルを生成するツールです。

MakeWeb は入力ファイルを読み込み、適当な変換をほどこした後、HTML ファイルを出力します。通常、MakeWeb は入力ファイルの内容をそのまま出力ファイルにコピーしますが、MakeWeb の命令 (コマンド) に出会った場合には、命令に応じた処理を行います。

もともと MakeWeb は、作者である結城浩が自分のホームページのメンテナンスを行うために開発したもので、1996 年から少しずつ成長しています。最初は C 言語で作っていましたが、Version 2.0 から Perl 言語に移行しました。Version 4.0 は、以下の点にポイントをおいてゼロから書き直しました。

- è XHTML 対応
- è スタイルシート対応
- è DTD に即した正しい XHTML を出力しやすく

変更や配付については、「使用・変更・配付上の注意」を参照してください。

## 2 主な機能

### 2.1 正しい HTML のタグを自動生成

MakeWeb には、HTML のタグに変換されるコマンドがあります。

短くて書きやすい MakeWeb のコマンドを使って、面倒な HTML タグを書かずに HTML ファイルを生成することができます。

### 2.2 ファイルのインクルード

MakeWeb の `-include` コマンドを使うと、C 言語の `#include` のように、ファイル中に別ファイルを挿入することができます。

この機能を使うと、共通のヘッダ、フッタ、メニューバーなどを持たせるのが容易になります。また別ファイルに自分のアドレスや住所、著作権表記などを用意してインクルードすれば、ページ記述の手間を省くことができます。

## 2.3 コメント機能

MakeWeb はセミコロン (;) で始まる行はコメントとして扱われ、その内容は HTML ファイルには一切出力されません。

## 2.4 コマンドの定義

ユーザは自分で新たなコマンドを作成することができます。

複雑な URL をあちこちの HTML ファイルに直接埋め込むと、後の変更が困難になる上、入力ミスやコピーミスが生じる恐れがあります。その URL 置換されるコマンドを MakeWeb の入力ファイル上に定義しておけば、埋め込む場所は一個所で済むようになります。

# 3 入手方法とインストール

## 3.1 入手方法

MakeWeb は、結城浩の「MakeWeb のページ」から無料でダウンロードすることができます。

## 3.2 ファイル一覧

以下にファイル一覧を示します。

makeweb.pl	MakeWeb 本体
define.txt	定義ファイル
makeweb.txt	ユーザーズマニュアル (MakeWeb の入力ファイル)
makeweb.html	ユーザーズマニュアル (HTML)
perl makeweb.pl makeweb.txt makeweb.html とすると makeweb.html ができる	

sample.txt	サンプル (MakeWeb の入力ファイル)
sample.html	サンプル (HTML)
	perl makeweb.pl sample.txt sample.html とすると sample.html ができる
quickref.txt	クイックリファレンス (perldoc)
	perldoc makeweb.pl > quickref.txt とすると quickref.txt ができる
process.jpg	ファイルの関係申}
makeweb.css	スタイルシート
makefile	メイクファイル例

è ユーザーズマニュアルを見るのに必要なファイル

```
{ makeweb.html
{ makeweb.css
```

è サンプルを見るのに必要なファイル

```
{ sample.html
{ makeweb.css
```

上記のうち、実行に最低限必要なファイルは makeweb.pl のみです。ただし実際には、ゼロから入力ファイルを作るのは難しいので、sample.txt, makeweb.txt, deãne.txt などを自分用に修正して使うのがよいでしょう。

### 3.3 動作環境

MakeWeb は以下の環境で動作確認しました。

è Windows 2000

è Perl v5.6.0

### 3.4 インストール手順

MakeWeb のインストールは以下の手順で行います。

1. Perl をインストールします。
2. MakeWeb 用のディレクトリを作り、そこに MakeWeb のファイル一式を展開します。
3. (Windows の場合)
  - è pl2bat makeweb.pl で makeweb.bat を作る
  - è makeweb.bat を環境変数 PATH の通っているところに移動する。

### 3.5 アンインストール手順

MakeWeb 用のディレクトリ中のファイルをすべて削除してください。

### 3.6 起動 (HTML)

MakeWeb は以下のように起動します。

```
perl makeweb.pl input.txt output.html
```

ここで input.txt は MakeWeb の入力ファイルであり、output.html は出力ファイル (HTML) です。

## 4 サンプル

### 4.1 sample.txt と sample.html ファイル

同梱のファイル sample.txt は、入力ファイルのサンプルです。MakeWeb にこのファイルを与えると、sample.html が作られます。

Web ブラウザやテキストエディタを使ってこの2つのファイルを比較すると、MakeWeb がどんなことをやっているのかがわかります。また、sample.txt を変更してから sample.html を作り直してみるのもよいでしょう。sample.txt は define.txt ファイルを利用しています。これらのファイルは自由に変更してお試し下さい。

### 4.2 sample.html の作り方

以下のように入力すると、sample.txt から sample.html を作るができます。

```
perl makeweb.pl sample.txt sample.html
```

## 5 主なコマンドの紹介

サンプルファイル `sample.txt` を読めば、主なコマンドの使い方はわかるようになっていますが、ここでは主なコマンドの使い方を紹介します。全てのコマンドは、`quickref.txt` を参照してください。

MakeWeb は入力ファイルを一行ごとに処理していきます。ここでいう一行とは、画面上の物理的な一行ではなく、改行までの論理的な一行です。

MakeWeb のコマンドは、通常行の先頭から開始します。

### 5.1 コメント

行頭にセミコロン (;) がある行は無視されます。例えば、以下のように書くと「; コメントです」の部分は出力されません。

```
; コメントです
```

### 5.2 リンク (1)

行頭に不等号 (>) がある行はリンクを表します。その次の行に URL を書きます。例えば、

```
>私のホームページ  
http://www.hyuki.com/
```

と記述した場合、

```
私のホームページ
```

というリンクになります。

### 5.3 セクション

行頭にアスタリスク (\*) がある行はセクションのタイトルになります。セクションのタイトルは、コマンド `-contents` を使ってまとめることができます。また、セクションの終わりには、そのページの先頭へのリンクが自動的に挿入されます。以下のように書きます。 `-contents` はどこにあってもかまいません。

```
-contents
*セクション 1
*セクション 2
*セクション 3
```

例えば、このマニュアルの目次は、 `-contents` コマンドを使って作っています。

### 5.4 サブセクション

行頭にマイナスとアスタリスク (-\*) がある行はサブセクションのタイトルになります。サブセクションのタイトルは、コマンド `-detail contents` を使ってまとめることができます。以下のように書きます。 `-detail contents` はどこにあってもかまいません。

```
-detail contents
*セクション 1
-*セクション 1.1
*セクション 2
-*セクション 2.1
-*セクション 2.2
*セクション 3
-*セクション 3.1
-*セクション 3.2
-*セクション 3.3
```

例えば、このマニュアルの詳細目次は、 `-detail contents` コマンドを使って作っています。

## 5.5 番号なしの箇条書き

以下のように書くと番号なしの箇条書きになります。

```
-[  
- 箇条書き  
- 箇条書き  
- 箇条書き  
-]
```

```
è 箇条書き  
è 箇条書き  
è 箇条書き
```

## 5.6 番号付きの箇条書き

以下のように書くと番号付きの箇条書きになります。

```
-<  
- 箇条書き  
- 箇条書き  
- 箇条書き  
->
```

```
1. 箇条書き  
2. 箇条書き  
3. 箇条書き
```

## 5.7 強調

行頭に感嘆符 (!) がある行は強調になります。例えば、

```
ここで  
! 強調  
をしたいです。
```

ここで強調をしたいです。

## 5.8 変換の抑止

行頭に縦棒 (|) がある行は、特殊な置換を行いません。コマンドそのものを記述したいときに用います。

```
|--(
```

## 5.9 コマンドの定義 (1)

次のようにすると新しいコマンド `-mymail` を定義します。

```
-mymail | =hyuki@hyuki.com
```

この定義を行っただけでは何も出力されません。この定義以降、`-mymail` を使うと、定義の内容が展開されます。

```
-mymail | =hyuki@hyuki.com
```

```
...
```

```
私のメールアドレスは、
```

```
-mymail |
```

```
です。 <-mymail |> あてにメールくださいね。
```

```
...
```

```
私のメールアドレスは、
```

```
hyuki@hyuki.com
```

```
です。 hyuki@hyuki.com あてにメールくださいね。
```

ここでは 2 個所に展開されています。行の途中で展開させたいときには、`<-mymail |>` という擬似タグを使います。

## 5.10 コマンドの定義 (2)

複数行にわたるコマンドを定義する場合には、次のように書きます。

```
-begin=download
-(
MakeWeb をダウンロードしたいときには、
>MakeWeb Home Page
http://www.hyuki.com/makeweb/
からどうぞ。
-)
-end=download
```

ここでは、-download コマンドを定義しています。

```
-download
```

以下のように展開されます。

```
MakeWeb をダウンロードしたいときには、 MakeWeb Home Page
からどうぞ。
```

## 5.11 ファイルの挿入

別のファイルの内容を挿入します。以下のようにするとファイルdefine.txt を挿入します。

```
-include=define.txt
```

## 6 エラーメッセージ

MakeWeb は何らかの誤りを見つけるとエラーメッセージを出力して終了します。

例えば、以下のような入力があったとします。-( ... -) の対応関係がおかしくなっています。

```
-(
こんにちは。
-(
```

このとき、MakeWeb は次のようなエラーメッセージを出力して終了します。

makeweb.txt(3): Missing -).

これは入力ファイル makeweb.txt の 3 行目を処理している最中に、-) が不足していることを検出したという意味です。

## 7 利用のコツ

### 7.1 pl2bat コマンド

è Windows なら、pl2bat コマンドを使って makeweb.pl から makeweb.bat を作っておくとよい。

### 7.2 どのファイルを修正すべきか

è 自分の作業ディレクトリに makeweb.css, define.txt, sample.txt をコピーして、それを修正してページデザインしてみるとよい。

è 見た目だけを変えるなら、スタイルシート makeweb.css を修正する。

è タグを変えるなら、定義ファイル define.txt を修正する。

è 単純なコマンドなら、定義ファイル define.txt に `-yourcommand=content` の形式を追加して `<-yourcommand>` を使う。

è 少し複雑なコマンドなら、定義ファイル define.txt に `-begin=yourcommand ... -end=yourcommand` の形式を追加して、`<-yourcommand>` を使う。

è とても複雑なコマンドなら、スクリプト makeweb.pl に `sub cmd_yourcommand f ... g` を追加して `<fyourcommandg>` を使う。

è 複数の入力ファイルで共通に使いたいコマンドは定義ファイル define.txt に入れる。

è 個別の入力ファイルだけで使いたいコマンドは入力ファイルに入れる。

### 7.3 フックコマンドで簡単カスタマイズ

MakeWeb のすべての組み込みコマンドは対応するフックコマンド (hook command) を持っています。これは、組み込みコマンドの振る舞いをユーザが簡単に変更できるようにするための仕組みです。例えば、以下では組み込みコマンド `-( ... -)` が使われています。

```
-(  
こんにちは。  
-)
```

MakeWeb は、上記の内容を、フックコマンドを使っていったん次のように変換します。

```
<-pbegi n>  
こんにちは。  
<-pend>
```

ここで、組み込みコマンド-(にはフックコマンド-pbegi n が対応し、組み込みコマンド-) にはフックコマンド-pend が対応しています。

この後、MakeWeb は通常のコマンド展開と同じ処理によって、次のように変換します。

```
<p>  
こんにちは。  
</p>
```

ですから、フックコマンド-pbegi n と-pend を自分の入力ファイルや定義ファイル中で別定義してしまえば、組み込みコマンド-( ... -) の振る舞いを変えることができます。

組み込みコマンドとフックコマンドの対応についてはmakeweb.pl 内部を参照してください。

## 7.4 その他

è 出力した HTML はhtmlhint でチェックするとよい。

è メール引用、プログラムの引用などは---( ... ---) や===( ... ===) を使うとよい。そのままカット&ペーストできるから。

## 8 MakeWeb Version 3 との相違点

たくさんの機能がなくなっていますが、これらの多くはスタイルシートを活用したよりスマートな解決方法を現在検討中です。

- è -define はなくなりました。
- è -autoinsert はなくなりました。
- è -color はなくなりました。別ファイルで提供？
- è +を使った箇条書きはなくなりました。->を使ったリンクはなくなりました。
- è \$の機能はなくなりました。
- è -ball の機能はなくなりました。
- è -background の機能はなくなりました。
- è -name の機能はなくなりました。
- è -usenumber の機能はなくなりました。
- è -usetilde の機能はなくなりました。
- è -ifhtml の機能はなくなりました。
- è -iflatex の機能はなくなりました。
- è -endif の機能はなくなりました。

## 9 バグ報告など

MakeWeb に関するバグ報告・要望・意見などは大歓迎します。  
hyuki@hyuki.com へお送りください。

## 10 使用・変更・配付上の注意

このプログラムはフリーソフトです。Perl 自身と同じ条件で、再配布・修正可能です。

This program is free software; you can redistribute it and/or modify it under the same terms as Perl itself.

## 11 作成履歴

- è Version 1.0 最初の公開版。
- è Version 1.1 タグの修正、コマンド若干追加。

- è Version 1.12 目次関連のバグ修正 (スピード若干落ちる)。
- è Version 1.13 色系列に gold を追加。 => コマンドの記述追加
- è Version 2.0 Perl 言語に移植した最初の版
- è Version 3.0 -i f . . . -endi f を追加。
- è Version 4.0 XHTML とスタイルシートに対応。

## 12 謝辞

MakeWeb のユーザに感謝します。発表以来、数多くのユーザから献身的なテストとレポートをいただきました。ここに深く感謝します。

## 13 関連リンク集

- è MakeWeb Home Page
- è MakeWeb メーリングリスト
- è Perl Home Page
- è Perl 言語プログラミングレッスン

## MakeWeb 4.0 ( 3)

Copyright (C) 1996-2001 結城 浩.

<http://www.hyuki.com/makeweb/>

<http://www.hyuki.com/>

[hyuki@hyuki.com](mailto:hyuki@hyuki.com)